

読書習慣が学力を決める

全国学力・学習状況調査の結果、国語に課題があることが分かりました。テストを終えた子どもたちから「時間が足りなかった」「最後まで行けなかった」という声が上がっていました。長文を読むだけの読書力がついていないのだと思われます。学校では、毎朝15分間の読書タイムを設けていますが、それだけでは足りないようです。家庭での読書習慣の定着を図るために、「読書日記」の取組を始めたいと思います。テレビやゲーム等の時間を削って、読書に取り組んでほしいと思っています。具体的なやり方は、準備ができ次第別紙にてお知らせします。読書習慣が身につくよう、家庭での協力をよろしくお願いします。

読書のよさを伝えるために、全校朝会で次のような話をしました。

読書をする、いいことがたくさんあります。まず、漢字がよく読めるようになります。教科書を読んでも、読めない漢字があると内容がよく分からなくなるでしょう。漢字がよく読めると、内容もよく分かるようになります。新しい言葉もたくさん覚えることができます。だから、読解力が伸びるのです。

言葉をたくさん覚えたら、文章を書くときにもいろいろな言葉が使えるようになります。自分の話したいことや書きたいことを的確に表現できるようになります。だから、表現力も伸びるのです。

本を読んでいると、いろんなことを知ることができるし、他の人のいろんな考え方も触れることができます。だから、思考力も伸びます。こうして、読解力も表現力も思考力も伸びるから、本を読むと学力が上がるのです。

また、本を読むと自分の世界を深めることができます。サッカーが好きな子がサッカーの練習方法が書いてある本を読めば、自分で工夫して練習するようになります。一流のサッカー選手の伝記を読めば、自分もこうなりたいとモチベーションが上がってがんばることができます。サッカーでも野球でもバレーでも釣りでも料理でも何でもいいんだけど、自分の興味のあることの本を読めば、自分の世界を深めることができます。

先生の教え子で、小学校の頃は成績がパツとしなかったんだけど、本は好きでよく読んでいた子がいました。その子は中学に入ってからだんだん伸びてきて、中3の頃にはトップクラスになり、国立大学に入って、今は先生として活躍しています。小さい時に勉強ができなくても、読書の習慣のある子は尻上がりに伸びていきます。ぜひ読書の習慣を身につけて、一生成長し続ける人になってください。



きれいに磨けたかな？巴先生による歯科指導

学校歯科医の巴先生と3名の歯科衛生士さんに、歯科指導をしていただきました。給食を食べた後、よく歯を磨いたはずなのに、染め出しをしてみると歯が真っ赤になりました。磨き残しが多いという証拠です。

歯磨きのポイントは、鉛筆を持つようにして、力を入れ過ぎずに、小刻みに、1本ずつ磨くことです。子どもたちは、大きくガシガシ磨いている子が多いように思いました。力を入れて磨くと、歯や歯茎を傷つけてしまいます。また、歯ブラシの先が開いてしまうので、効果的に磨くことができません。

子どもには大きい歯ブラシを使っている子もいました。これだとすみの方が磨きにくくなります。自分に合った歯ブラシを使うことも大切なポイントですね。

巴先生に指導していただいたことを生かして、効果的な歯磨きの習慣を身につけ、一生自分の歯を大事にできるといいですね。



12月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	日	三代交流そば打ち大会、年末の交通事故防止運動（～10日）、ふれあい立番・児童会立番	13	金	代表委員会、
2	月	振替休業日	16	月	クラブ活動、ふれあい立番、児童会立番
3	火	委員会活動	19	木	期末懇談会（上地区）
4	水	全校朝会、ホール給食	20	金	児童集会、期末懇談会（下地区）
5	木	体育教室、ふれあい立番、コスモス荘訪問（5・6年）	23	月	給食最終日、大掃除、校外児童会
9	月	読書週間、いじめアンケート（～13日）	24	火	第2学期終業式
10	火	学校評議員会	25	水	冬季休業日（～1／6）
11	水	奈佐っ子タイム、ホール給食	27	金	御用納め
12	木	体育教室	28	土	年末年始休日（～1／3）

